

美味しい牛肉をお届けます！

氏名：佐伯 直（令和2年度 畜産学科卒業）

就農年	令和2年
就農形態	雇用就農
就農地	鉾田市
経営品目	肥育牛、繁殖和牛



【農業大学校に入学したきっかけ】

高校への進学時は、普通高校ではなく工業や農業などの専門高校に行こうと考えていました。初めはその中でも工業高校への進学を考えていましたが、動物が好きなことと親から「農業高校はどう？」と言われたことで、水戸農業高校の畜産科に入学しました。高校では、牛、豚、鶏全てに関わっていましたが、その中でも牛に興味が出てきたこと、友達から農業大学校のオープンキャンパスに誘われたこと、さらにはオープンキャンパスで水戸農業高校の先輩が楽しそうにしていたこと等がきっかけで、農業大学校に進学することに決めました。



エサを食べている肥育牛

【在学中の思い出】

畜産学科は朝夕の搾乳当番があり、特に冬の朝と年末年始の搾乳当番が大変でした。それでも思い返せば同じ農業や畜産での勉学を志す仲間がいたこと、先輩とも仲良くなれたことなど農大生活は非常に楽しかったです。

しかし、2年生の時には新型コロナウイルス感染症のため、農大祭や体育祭などのイベントや集まりがことごとく中止になってしまい、せっかく友人が近くにいる寮生活だったのにワイワイ騒げなかったことが、すごく残念でした。

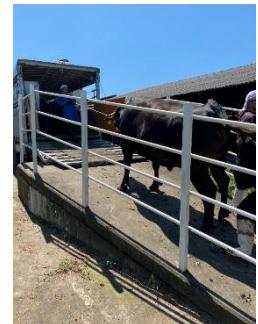
【就農を決意したきっかけ】

1年生の時に実施した「先進農業短期派遣実習」で、畜産学科は鉾田市にある「(株)茨畜連パイロットファーム（以下パイロットファーム）」でお世話になりました。その時に、肥育牛に非常に興味を持ちました。さらに、2年生の時に実施した1か月間の「先進農業派遣実習」でも、私は「パイロットファーム」でお世話になり、1か月ではありましたが常陸牛を生産する技術などを間近に見ることができ、益々肥育牛の生産に関わりたいと思うようになりました。卒業後は、パイロットファームに就農したいと思い、その願いは叶ってそのまま就農することができました。

【現在の取り組み】

現在パイロットファームでは、肥育牛約600頭、繁殖和牛約20頭を飼養し、1日3～4人で管理しています。1日の勤務時間は8時～17時までで、作業としては、給餌、牛の体調管理、牛舎への飼料運搬・補充などを行っています。

また、繁殖和牛に発情が来ているときは、種付の実施や牛の出荷時には牛の積み込み前の保定（牛を捕まえる）などの作業も行っています。



出荷されて行く牛

【これからの夢や目標】

今後も、美味しい牛肉となる常陸牛を育てていきたいです。また、繁殖和牛への種付の受胎率をもっと向上させていきたいです。今は場長と2人で種付をしていますが、任されるようになっていきたいです。

【これから「農業を学びたい人」や「就農したい人」へのアドバイス】

まず、社会人としての礼儀、あいさつ、約束を守る、報告・連絡・相談などがきちんとできるようになってください。社会に出たら責任が付いて回るので、当たり前のことをきちんとできるようになっていることが大切です。また、将来どこかで互いにつながるかもしれないので、出会った友人など人とのつながりを大切にしてください。最後に、私は今人工授精の免許が非常に役立っています。取得できる資格は全て取っておいた方が良いでしょう。関係ないと思っても、どこかで必要なことがあるかもしれないので、取れる時にできるだけ多くの資格を取っておいてください。